

かわら 川原でキャンプをするには、どんな寝るための準備が必要なの

寝るのは寝ぶくろなど

テントで寝るには、ふつう、寝ぶくろ（シュラフザック）や毛布を使います。

寝ぶくろには、人形型、マミー型、ふうとう型など、いろいろなものがあります。どれも、中には、羽毛などが入っていてあたたかく、この中に入って寝ます。

また、寝ぶくろには、夏用とか、春、夏、秋のスリーシーズン用とか、オールシーズン用のものがあり、季節によってどれを使うかを決めます。

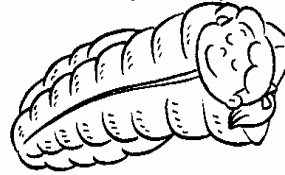
羽毛入りの寝ぶくろは、軽くて折りたたむと小さくなるため、たいへん便利ですが、水に弱いという欠点もあります。そのため、シュラフカバーを、かぶせて使うこともあります。シュラフカバーは、通気性や防水性のよいものを、選びましょう。

寝ぶくろの下にはマットをしく

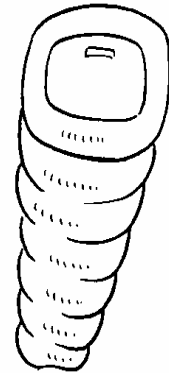
寝ぶくろの下には、湿気防止や保温のためと、痛くないように、エアーマット、ウレタンマットなど、マットをしきます。（監修・青木 国夫）

〔寝るための準備〕

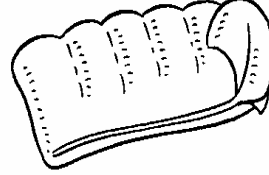
寝ぶくろ(人形型)



寝ぶくろ(マミー型)



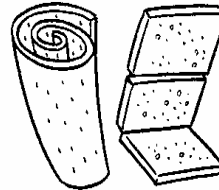
寝ぶくろ(ふうとう型)



シュラフ(寝ぶくろカバー)



ウレタンマット



エアーマット

